

レファレンスだより 2022年9月号 No.238

福岡市総合図書館 図書サービス課 図書資料係 ☎092-852-0632

図書館では、情報を求める利用者に対して、図書館の資料と機能を活用して調査のお手伝いをする「レファレンスサービス」を提供しています。法律相談や物品鑑定などお答えできない質問もあります。「レファレンスだより」は、実際に寄せられた質問について、総合図書館が回答した事例の一部を紹介する情報紙です。

■レファレンス受付件数（2022年6月分）

参考	人文	社会	自然	郷土・文書
92	1036	227	241	208
国際	国連	こども	ポピュラー	合計
299	27	645	954	3729

（開館日 25日 一日平均 150件）

今月の特集！

9月1日は「防災の日」



●「防災の日」とは？

【防災の日】ぼうさいのひ 九月一日。一九二三年（大正一二）九月一日十数万人の死傷者を出した関東大震災と、台風が襲ってくると昔から言い伝えられている二百十日にちなんで、一九六〇年（昭和三五）に設定された。（『日本大百科全書 21』1994年 p327 より引用）

「関東大震災」とは？



「関東大震災」かんとうだいしんさい

- ・1923年（大正12）9月1日午前11時58分 関東地方南部を襲った大震災。
- ・震源地は相模湾北部（東経139.3度、北緯35.2度）
- ・地震の強さは最大震度7、規模はM7.9。
- ・昼食時であったため、地震による家屋の倒壊によって134か所から出火し、9月3日午後2時に鎮火した。その間、大火災のために気温が上昇、東京では1日夜半には46度Cに達し、初震以来5日午前6時までには人体に感じた余震は936回を数え、各地に津波が襲来した。そのため日本の心臓部である京浜地帯は壊滅的な打撃を受け、被害は東京府を中心に神奈川、千葉、埼玉、茨城、静岡、山梨の一府六県に及んだ。
- ・被災者は約340万人、死者9万1344人、行方不明1万3275人、重傷1万6514人、軽傷3万5560人。（参考資料『日本大百科全書 6』1994年 p254「関東大震災」）

二百十日とは!?

「二百十日」にひやくとおか 暦の雑節の一つ。立春から数えて二一〇日目の日。太陽暦の九月一日ごろにあたる。古来、台風襲来の時期でイネの開花期にあたり、農家の厄日として注意を促すため暦に記載される。（『日本大百科全書 17』1994年 p809より引用）

目 こちらの本もご覧ください 目

●防災に関する事典や法律の本です。

- 『自然災害科学・防災の百科事典』 日本自然災害学会／編 丸善出版 2022年
- 『風水害と防災の事典』 風水害と防災の事典編集委員会／編 丸善出版 2021年
- 『防災六法 令和2年版』 防災法制研究会／編集 大成出版社 2020年

質問：牛車のような貴族の乗り物を、カラー資料で見たい。

回答：牛車の他にも貴族の乗り物全般を調査。以下のような資料があります。

①『故実叢書 36巻 改訂増補 輿車図』

(故実叢書編集部／編 明治図書出版 1993年) 2階B10 210.09/3

カラー(絵)でいろいろな種類が掲載されている。

「鳳輦(ほうれん)」、「葱花輦(そうかれん)」、「唐車」、「九条家車」、「文車」、など29枚。



②『イラストでみる日本史博物館 第1巻 社会・芸能編』(香取 良夫／著・画 柏書房 2005年)
2階B9 210/カ カラー資料ではないが、種類多し。

③『王朝絵巻 貴族の世界 復元の日本史』(毎日新聞社 1990年) 閉架書庫 Y210.36/オ

絵巻などからの図あり(カラー、白黒)。各乗り物の説明あり。

p.88 貴族の乗り物(1) 輿 「…人力で運行する乗り物を広く輿(よ)というが、…」

p.90 貴族の乗り物(2) 牛車 「牛車は、牛に牽引させて運行する屋形のついた乗り物で、…」(p.90)

輦車(てぐるま) 人力で引く 「…「輦車の宣旨」を得て乗用を許された者だけが用いた。」(p.91)

④『王朝の雅源氏物語の世界 別冊太陽 日本のこころ』(鈴木 日出男／監修・執筆 平凡社 2006年)
閉架書庫 913.36/オ

p.50 狩野山楽「車争図屏風」より。他、カラー資料の掲載あり。

質問：全国市区立図書館の平均蔵書数・貸出数を調べたい。

回答：以下のような資料があります。

①『図書館年鑑 2021』

(日本図書館協会図書館年鑑編集委員会／編集 日本図書館協会 2021年) 2階C9 R010.59/ト
Ⅲ-1 図書館統計 公共図書館統計(p.394~)

1 市区町村立図書館の動向

2 公共図書館集計 2020

市区立図書館の図書館総数、蔵書冊数、貸出総数等の集計あり。計算すると平均蔵書数、貸出数がわかる。

②『日本の図書館 2021 統計と名簿』

(日本図書館協会図書館調査事業委員会日本の図書館調査委員会／編集 日本図書館協会 2022年)
2階C9 R010.59/ニ

統計編 公共図書館統計(p.13~) 奉仕人口、蔵書冊数、貸出数等の集計あり。

当館の情報は『令和3年度図書館要覧』もご参照ください。

当館ホームページの図書館の発行物で令和3年度図書館要覧ダウンロード可能です。

【<https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/publications/>】

レファレンス協同データベースに類似質問あり。

「全国の公共図書館の平均蔵書数と人口1人当たりの貸出冊数を知りたい。」

安城市図書館情報館(2310061)

【https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000292731】



？ 質問：全国のお酒の銘柄のヨミがわかる本はないか？



回答：以下のような資料があります。



- ①『日本酒大事典』（梁取 三義／著 彩光社 1979年）2階E 4 R588.52/ヤ
辞書タイプなので、あらかじめ読み方を予想して引き、確認するという使い方ができる。
- ②『吟醸酒・純米酒情報事典』（時事通信社／編集 時事通信社 1998年）2階E 4 R588.52/キ
- ③『全国清酒地酒大名鑑』（名酒ファン編集部／編 技興社 1991年）2階E 4 R588.52/セ
- ④『日本の酒・世界の酒 2009年版』（産経新聞メディックス 2009年）1階ポ6 1 588.5/ニ

資料②③④は、酒造会社のある都道府県別に構成されていて、読み方が明記されている。

- ⑤『日本の名酒事典』（講談社 2005年）1階ポ6 588.52/ニ
都道府県ごとに紹介されていて、読みかなではなく、アルファベットで読みが記されている。
- ⑥『うわさの名酒新 200選』（地酒スペシャリストの会／編 講談社 2001年）1階ポ6 1 588.52/ウ
原料や製造方法の違いなどによって分けられ紹介されている。「幻のお酒」なども掲載され、よみが付されている。



？ 質問：老子の「道德経」を中国語で読みたい。



回答：以下のような資料があります。

●「道德経」についての詳細

- ①『中国歴史文化事典』（孟 慶遠／主編 新潮社 1998年）2階C 11 R222.00/チ
- ②『中国文化史事典』（尾崎 雄二郎／編集代表 大修館書店 2013年）2階C 11 R222.00/チ
『老子』『老子道德経』とも言われ、道経 37章、徳経 44章からなる、とある。

●中国語資料

- ③『老子校読』（張 松如／[編] 吉林人民出版社 1981年）閉架書庫 W-C-1-3//LA
- ④『道德経白話解説』（江 希張／注解 関東印書館 1935年）閉架書庫 W-C-1-3//JI
- ⑤『老子道経管窺』（葉 程義／著 文史哲出版社 1993年）閉架書庫 F103CHI/124.22/LA
道德経全 81章のうちの道経の 37章のみ所収。

●和書

- ⑥『哲学として読む老子全訳』（山田 史生／著 トランスビュー 2020年）1階ポ70 124.22/ヤ
- ⑦『老子 ワイド版岩波文庫』（老子／[著] 岩波書店 2012年）1階ポ70 124.22/ロ
- ⑧『老子訳注 帛書「老子道德経」』（小池 一郎／著 勉誠出版 2013年）1階ポ70 124.22/ロ
原文あり。





今月の一冊!

『和歌のタイムライン：年表でよみとく和歌・短歌の歴史』

(和歌文学会出版企画委員会／編 三弥井書店 2021年) 2階C14 R911.10/7



和歌は奥深く、また味わい深いものです。時の洗礼を受けて、今なお私たちの心をゆさぶるエネルギーをもった歌は、珠玉の名歌といっているいいものです。

ただ、その歌に出会った現代人が感得する歌の世界と、その歌を詠んだ時代とでは、無理もないことですが、流れている時の速さや風景、価値観などに違いがあり、本当に歌人が詠んだままに現代人が受けとめられているのだろうかと思うことがあります。それでも、現代人の心をとらえて離さない魅力が歌に宿っていることは十分に素晴らしいことではありますが、できるだけその違いを埋め合わせて受けとめることができれば、歌人が歌にこめた思いをより正確に理解することができるかもしれないと少し切ない思いで和歌と向き合うことがあります。

そんな時、この『和歌のタイムライン』はその和歌が詠まれた時代背景を年表で視覚的に確認することで、和歌と歌人への理解を深めてくれそうです。この歌が詠まれた時代には、世の中で何が起きていたのか、誰が存命であったか、周辺の国ではどんな動きがあったのかなども併せて確認できる資料になっています。和歌の世界をより深く味わうために助けとなる資料です。

使ってみました ⇒ 「初春令月、気淑風和、梅披鏡前粉、蘭香珮後之香」という、【令和】という元号のもとになった歌が詠まれた頃の時代背景を知ろう!ということで、本書を使ってみました。『万葉集 巻5に修められている「梅花の歌三十二首并序」からは、天平二年正月十三日という宴の開催された年月日が明記されているので、これを本書で確認すると、旅人の妻が宴の二年前に、旅人は宴の翌年の夏に亡くなっていることがわかります。また宴の前年には、歴史の教科書でも紹介される【長屋王の変】が起きていることなどが時系列で確認できます。



総合図書館 専門図書 新刊案内

新着本の一部を紹介します。読んでみたい本がありましたら、気軽にお尋ねください。

	書名	著者名	出版者	請求記号
人文	大相撲の行司と階級色	根間 弘海／著	専修大学出版局	788.1/ネ
	アーミッシュキルトを訪ねて	鈴木 七美／著	大阪大学出版会	198.93/ス
社会	法律を読む技術・学ぶ技術	吉田 利宏／著	ダイヤモンド社	321/ヨ
	船旅の文化誌	富田 昭次／著	青弓社	683.5/ト
自然	日本建築を作った職人たち	浜島 一成／著	吉川弘文館	525.54/ハ
	検証 COVID-19 災害	関西大学社会安全学部 ／編	ミネルヴァ書房	498.6/ケ/

📢 今月の展示 ～総合図書館2階 展示図書のご案内～

毎月4つの部門でテーマ展示をしています。貸出も可能ですので、是非ご覧ください。

《人文科学》

茶

《社会科学》

中国

《自然科学》

認知症

I階 特設展示棚

《国際》 **もう一度、アジア!**

青空のための

《国連》 **きれいな空気の国際デー**